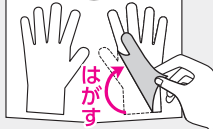




シエロ
CIELO
ヘアカラー ミルキー

使用説明書・手袋

手袋は裏面に
貼りつけて
あります。



- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

?

本品に限らず、ヘアカラーでかぶれの症状がでたことはありますか?



YES

絶対にヘアカラーをしないでください

かぶれの典型的な症状

- ① 染毛の半日後くらいからかゆみを感じ、はれ・赤み・ブツブツ等が出始め、染毛の48時間後に最もひどくなる。
- ② 使用のたびにかゆみを感じる。

かぶれの症状が軽かった場合も、**繰り返し使用すると次第に症状が重くなり、まれに重いアレルギー反応※が突然起こることがあります。**
(※全身じんま疹、呼吸困難等)

NO

毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をしてください

この面の「皮膚アレルギー試験の手順」をよく読んでください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪が生え際・顔・首筋等に、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

⚠ 使用上のご注意

1 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るとおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
- ② 換気の良い所で使用してください。

- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

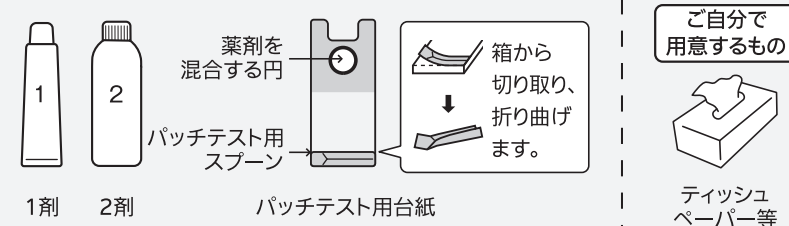
他に守っていただきたいこと

- ① 本品を小分けして使用しないでください。
- ② 幼児には使用しないでください。
- ③ 公衆浴場等でのご使用は、ご遠慮ください。
- ④ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。
- ⑤ パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますので、ご注意ください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

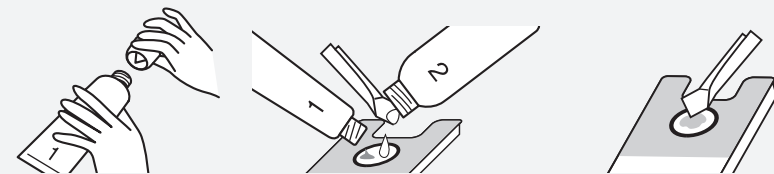
毎回必ず、染める2日前(48時間前)にパッチテストをしてください。

1 次のものを準備します



2 パッチテスト用の混合乳液をつくります

- ① 1剤チューブの口をキャップ頭部の突起であけます。
- ② 1剤をごく少量(あずき粒程度)パッチテスト用台紙の円の上に出します。2剤をスプーンで受けながら、1剤の1.5倍量を出します。
- ③ パッチテスト用スプーンで混ぜ合わせます。



3 腕の内側にぬって48時間放置します

- ① 混合乳液を、パッチテスト用スプーンで腕の内側に10円硬貨大にうすくぬります。

10円硬貨大

- ② 自然に乾燥させ、そのまま触れずに48時間放置します。
※時間を必ず守ってください。

- ぬった部分が30分くらいしても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽くふき取ってください。
- 混合乳液をぬった所は絆創膏等で覆わないでください。
- パッチテスト中は、入浴やシャワーをひかえてください。正確な結果を得るためには、48時間のパッチテスト中に、テスト部位をぬらしたり、こすったり、シールを貼ったりしないことが必要です。やむなくシャワー等する場合は、テスト部位をぬらさないようご注意ください。

4 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します

塗布部に**発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等**、皮膚の異常があった場合には、手でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合乳液を洗い落としてヘアカラーはしないでください。

5 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください

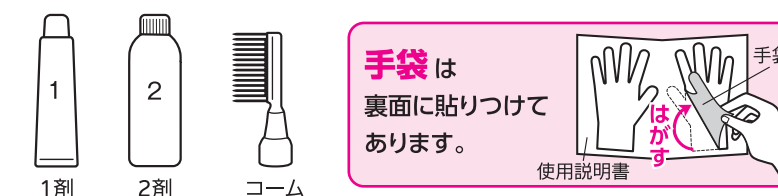
- ※異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。また、製品についてはお客様相談室までご連絡ください。
- ※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちます。

ご使用前の準備

注意

- 寒い所では染まりにくいので、室温20~30℃の場所でお使いください。
 - 乾いた髪に使用し、染毛中の入浴は避けてください。
 - シャンプーは、染める前日までに済ませてください。髪の汚れがひどいとき、整髪料を多めに使用しているとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときは、十分に洗い流してください。
- [やむをえず、染める当日にシャンプーする場合]
- 地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
 - 髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、薬剤がたれたり、染まりが悪くなる場合があります。

1 必要なものをそろえます



手袋は裏面に貼りつけてあります。

使用説明書

ご自分で用意するもの

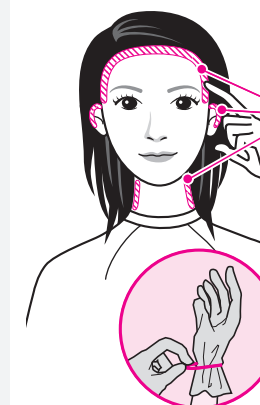
- 化粧ケープかタオル
- 汚れてもかまわないタオル
- 新聞紙等の敷物
- ティッシュペーパー等
- 水をはじく油性クリーム
- 鏡
- 輪ゴム2本(手袋用)
- シャンプー・コンディショナー等
- 時計

便利なグッズは、オンラインショップでご購入できます。

ホーユー サポートグッズ 検索



2 汚れ対策をします



- ① 汚れてもかまわない前あきの衣服を着てください。
- ② 化粧ケープかタオルで衣服をガードします。
- ③ 水をはじく油性クリームを、生え際、耳のまわり、えりあしにぬります。薬剤が皮膚についても落とすやすくなります。
※油性クリームが髪につくと染毛効果が弱くなります。
- ④ メガネ、コンタクトレンズ、アクセサリ等はずします。
- ⑤ 新聞紙等を、床や洗面台等に敷いてください。
- ⑥ 必ず手袋をして、輪ゴムでとめます。

より詳しい情報はこちら

- ヘアカラーによるかぶれの情報
- かぶれた方への代わりの商品紹介

ホーユー パッチテスト 検索

www.hoyu.co.jp/startup/patch_test.html



商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちら

お客様相談室
0120-416-229

土・日・祝日及び弊社休業日を除く
午前9時~午後5時

ご使用の手順

ご使用前に必ず**反対の面**も
お読みください。



すぐ分かる! 使い方動画
www.cielo.jp/lineup/milky/



セミロングヘア(肩につく程度) 約1回分



●混合乳液が目には絶対に入らないようご注意ください。●染める2日前(48時間前)に毎回必ず、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
●寒い所では染まりにくいので、室温20~30℃の場所でお使いください。

1 混合乳液をつくります

1 2剤を箱に固定し、
1剤を全量加えます。



2 白キャップをしめて、
上下に30回強く振ります。



注意

- コームをつけないでください。混合乳液が飛び散ります。
- しっかり混ぜてください。混ぜないと、混合乳液がたれたり、コームに詰まったりします。

●混合直後、混合乳液が2層に分かれて見える
ことがありますが、問題なく使用できます。



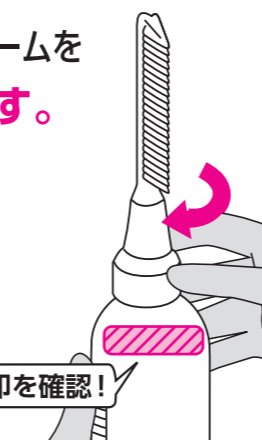
3 白キャップをすぐにはずし、コームを
しっかり回してつけます。

重要

クシの歯先が
矢印の範囲に向くまで
締め付けてください。

※空気もれて混合乳液が
出なくなるおそれがあります。

矢印を確認!



2 混合乳液をコームに出します

ボトルを上向きのまま、小刻みに
「軽く押す」⇔「緩める」をくり返します。



スベリ止めのある部分
を押してください。

ボトルをにぎりつぶさ
ないでください。
空気もれて混合乳液が
出なくなるおそれがあります。



●使用時に「ピュー」と音が
する場合がありますが
使用上問題ありません。

注意

- 混合乳液をつくらしたらすぐに塗り始め、
途中で中断しないでください。
また、必ず30分以内に塗り終わってください。
時間がたつと徐々に染毛効果が弱くなります。
- 白キャップをしたまま放置しないでください。
ガスが発生して容器が破裂したり、混合
乳液があふれ出るおそれがあります。

〈薬剤の色について〉
※1剤の色は番号によって異なります。また、
部分的に茶色や黒色になっていることが
ありますが、仕上がりに影響ありません。
※混合乳液の色は徐々に変わり、仕上がりの
色とは異なります。

3 乾いた髪に、混合乳液をぬります



●ぬるときに、混合乳液の飛び散りにご注意ください。●混合乳液がなるべく地肌につかないようにしてください。●コームで地肌や髪をいためないようにしてください。
●後頭部にぬるとき、混合乳液を出しすぎないように、ご注意ください。●混合乳液が肌についたときは、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐにふき取ってください。

ぬる時間 10分

※早くぬり終えた方も10分たつまでお待ちください。

1 白髪が目立つ部分の根元からぬります。



ポイント

白髪の多い部分は
染まりにくいので、
たっぷりぬります。

2 混合乳液を出しながら、髪をとかすように、
全体にムラなくぬります。



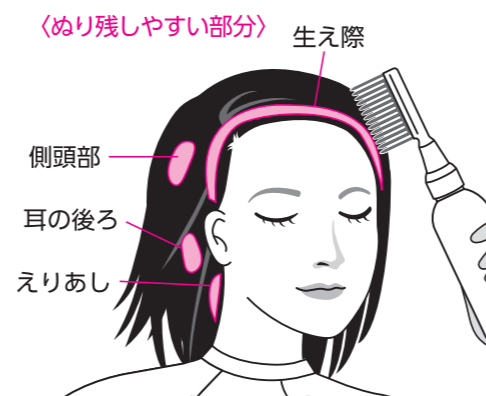
ポイント

髪をタテ、ヨコ、ナナメにとかすと、
つけ残しなくなります。

注意

液だれにご注意ください。
毛先にぬるときは、必ず
コームに手をそえてください。

3 白髪が気になる部分に、もう一度ぬります。



ポイント

よりムラなく染めるために
手で根元から毛先に
向かってやさしく
なじませます。

放置時間 15分

4 放置します。

- 太くて硬い髪の方、白髪の多い方は、
5分ほど長く放置してください。
※長く放置しすぎないでください。
髪が希望の色にならなかったり、
髪や地肌をいためるおそれがあります。
- 混合乳液が肌についていないか
確認してください。

注意

残った混合乳液は必ずすぐに洗い流してください。
放置しておくと、ガスが発生して容器が破裂したり、
混合乳液があふれ出るおそれがあります。

新しく
伸びた部分

ぬる時間 10分

※早くぬり終えた方も10分たつまでお待ちください。

1 新しく伸びた部分だけにたっぷりぬります。

※上記の手順もよくお読みください。

注意

毛先は、後で(右の手順3)でぬってください。
最初にぬると、染め重なって暗い色になることがあります。

放置時間 10分

2 放置します。

さらに 5分放置

3 混合乳液を補いながら
毛先にのばし、放置します。

4 洗い流します

よくすすぎ、シャンプーを2回しっかりします。
コンディショナー等で仕上げ、よく乾かします。

※汚れてもかまわないタオルでふいてください。

注意

- すすぎ湯が目には絶対に入らないようご注意ください。
- すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れる場合があります。
髪をすすぐ前に、浴槽やタイル等をぬらしておく
と汚れが落ちやすくなります。

皮膚が着色した場合

- 強くこすると炎症や傷の原因になりますので、ご注意ください。
- 汚れた部分に、メイク落としをなじませ、しばらくの間、軽く
マッサージをします。次に、蒸しタオルをあてた後、石けんで
洗い流します。石けんをタオルにつけて軽くこするのめ効果的です。
- 汚れが残っても、洗髪や入浴によって、数日程度で自然に落ちます。

次回からの色選びのポイント

- 仕上がりが明るすぎたとき... 次回は、暗めの色(今回より大きい番号)
をご使用ください。
- 仕上がりが暗すぎたとき... 1回で明るく染め変えることは困難です。
次回から、明るめの色(今回より小さい番
号)を使用し、徐々に明るくしていきます。

使用後のご注意

- 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に色移りすること
がありますので、ご注意ください。
○髪がぬれているとき(汗をかく、雨にぬれる、洗髪後等)。
○整髪料や育毛剤等を多量に使用したとき。
○ヘアカラー後のすすぎ等が不充分なとき。
- 再度ヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用する場合は、
髪や地肌への負担を考え、1週間くらいの間隔をおいてください。

手袋はここからはがしてください。